2010年度第1四半期決算説明資料

2010年8月







経済条件(ATM受入手数料)の戦略的見直しや 貸金業カードの取扱い減等の減収減益要因が あったものの、総利用件数が着実な伸びを続けた ため、収益・利益ともほぼ計画線で着地

損益状況



損益計算書(抜粋)

(単位:億円)

	2009年度	2010年度		2010年度
	第1四半期	第1四半期	対前年比 (%)	上期計画
経常収益	226	216	Δ 4.6	438
うちATM受入手数料	218	207	△ 4.6	421
経常費用	144	137	△ 4.9	291
経常利益	82	79	△ 4.1	147
特別損益	Δ0	Δ 0	_	0
法人税等合計	33	32	Δ 5.2	59
当期純利益	48	46	△ 5.1	87

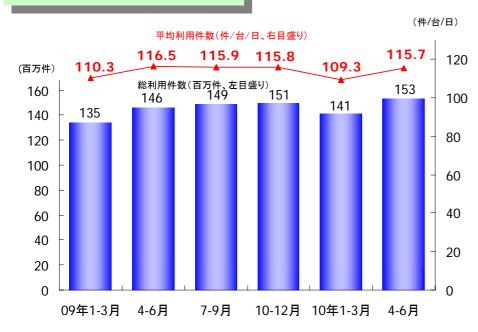
注1. 単位未満は切捨て

注2. 対前年比は百万円単位で比較し小数点第2位以下切捨て

ATM事業の状況

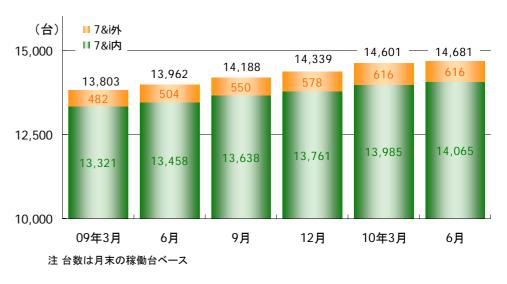


利用件数の推移



注1. 平均利用件数、総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を除く注2. 平均利用件数は小数点第2位以下切捨て、総利用件数は単位未満切捨て

ATM台数の推移



期中純増台数

(単位:台)

	合計	7&i内	SEJ新規	SEJ2台目	その他	7&i外	うち証券会社等 金融機関
2010年4-6月	80	80	29	44	7	0	Δ 6
2010年度 上期(計画)	約300	約240	_		;	約60	

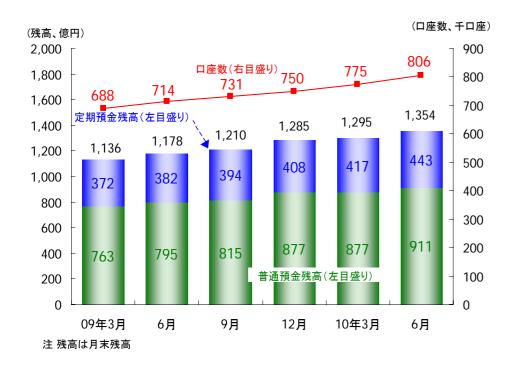
注1. 7&iはセブン&アイHLDGSグループ、SEJはセブン-イレブン・ジャパンの略

注2. 7&i外の増加分内訳 : 駅・交通系2、商業施設5、企業内1、ホテルム2

口座関連の状況



セブン銀行預金(個人)の状況



カードローンの状況(2010年1月25日開始)

	2010年6月末
件数	4千件
残 高	242百万円

注 単位未満切捨て

② 株式会社セブン銀行 4



本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を置いています。これらの記述及び前提(仮定)は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。